

地域審議会報告資料

— 第 1 期実証実験運行の利用状況等について —

1. 基幹バス・乗合タクシーのこれまでの利用概況

(1) 基幹バスの利用状況について

① 月別利用状況

基幹バスの1日当たりの利用者数は、10月は42.9人/日、11月は47.8人/日、12月は49.9人/日、1月は54.2人/日と増加しています。

表 基幹バスの月別利用者数

	利用者数 (人)	1日当り 利用者数 (人/日)	運行日数 (日)
10月	1,331	42.9	31
11月	1,434	47.8	30
12月	1,396	49.9	28
1月	1,518	54.2	28

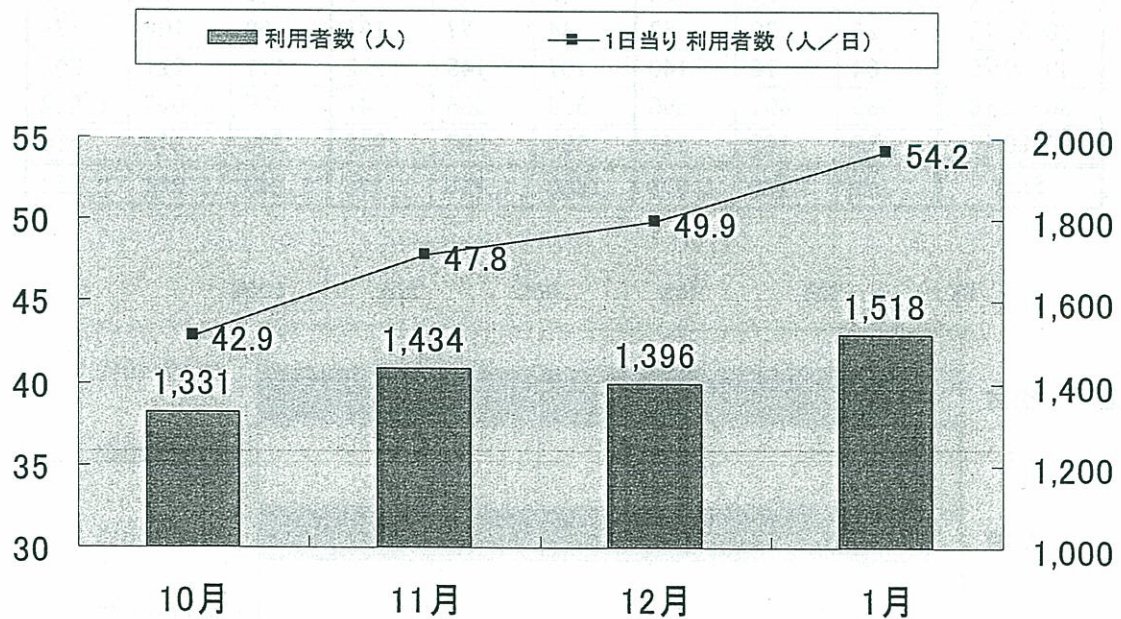


図 基幹バスの月別利用者数の推移

(2) 乗合タクシーの利用状況について

① 登録者数

乗合タクシーの登録者数は、運行開始時で1,316人、1月末時点で2,854人が登録しており、運行開始時点と比べ約2.2倍増加しています。地域別では、蓮沼・松尾地域は1,079人と約2倍増加し、成東地域は1,775人と約2.3倍増加しています。

蓮沼・松尾地域での登録者数が少ないが、人口に対する登録率は蓮沼・松尾地域が7.0%、成東地域が7.4%とほぼ同程度となっています。

また、登録者の性・年齢階層は、両地域とも女性が男性より多く、70歳代を中心に高齢の登録者が多くなっています。

表 地域別登録者数

	登録者数(人)			増加率(%)		
	蓮沼・松尾	成東	地域計	蓮沼・松尾	成東	地域計
運行開始時	537	779	1,316	—	—	—
1月末時点	1,079	1,775	2,854	200.9	227.8	216.8

表 性・年齢階層別登録者数(1月末)

年齢階層	蓮沼・松尾地域			成東地域			地域計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
0-10代	33	21	54	42	45	87	75	66	141
20-30代	24	29	53	44	77	121	68	106	174
40-50代	64	76	140	107	145	252	171	221	392
60-70代	189	401	590	336	606	942	525	1,007	1,532
80-90代	80	162	242	121	252	373	201	414	615
合計	390	689	1,079	650	1,125	1,775	1,040	1,814	2,854

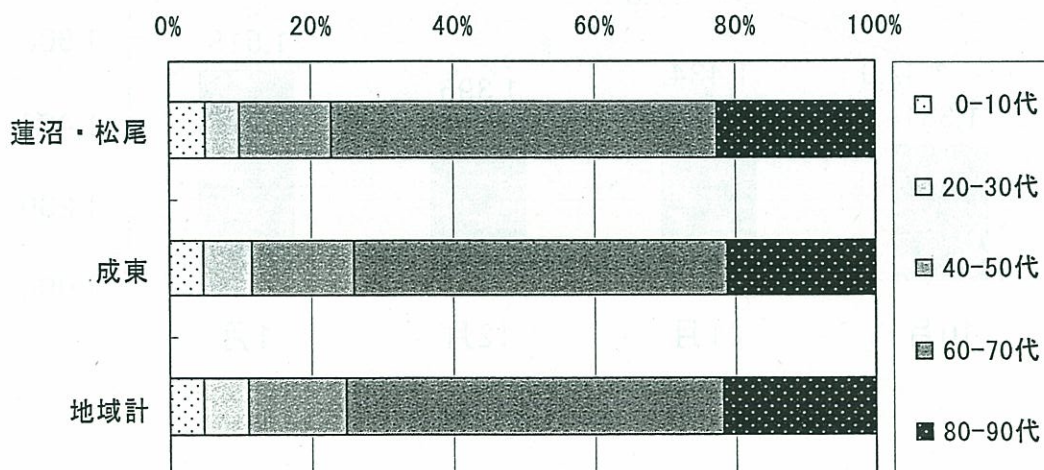


図 地域別登録者の年齢構成

② 月別利用状況（運行日報より※）

乗合タクシーの利用者数は、10月が1,235人、11月が1,457人、12月が1,563人、1月が1,733人となっており、対前月比で11月が18%増、12月が7.3%増、1月が10.9%増と増加しています。12月と1月の地域別利用者数をみると、蓮沼・松尾地域が12月365人、1月432人、成東地域が12月1,198人、1月1,301人と、両地域で増加傾向にあり、特に蓮沼・松尾地域では、1月に利用者数が400人を超え、増加率も対前月で18.4%増となっています。1日当りの利用者数は、蓮沼・松尾地域が15.4人/日（1月）、成東地域が46.5人（1月）となっており、地域全体で61.9人/日（1月）と、運行開始の10月から約1.5倍となっています。

表 乗合タクシーの月別利用状況

	利用者数					
	(人)			増加率		
	蓮沼・松尾	成東	地域計	蓮沼・松尾	成東	地域計
10月	368	867	1,235	—	—	—
11月	388	1,069	1,457	5.4%	23.3%	18.0%
12月	365	1,198	1,563	-5.9%	12.1%	7.3%
1月	432	1,301	1,733	18.4%	8.6%	10.9%
	1日当り利用者数					
	(人/日)			増加率		
	蓮沼・松尾	成東	地域計	蓮沼・松尾	成東	地域計
10月	11.9	28.0	39.8	—	—	—
11月	12.9	35.6	48.6	8.9%	27.4%	21.9%
12月	13.0	42.8	55.8	0.8%	20.1%	14.9%
1月	15.4	46.5	61.9	18.4%	8.6%	10.9%

※ ただし、1月の利用者数はログデータを使用

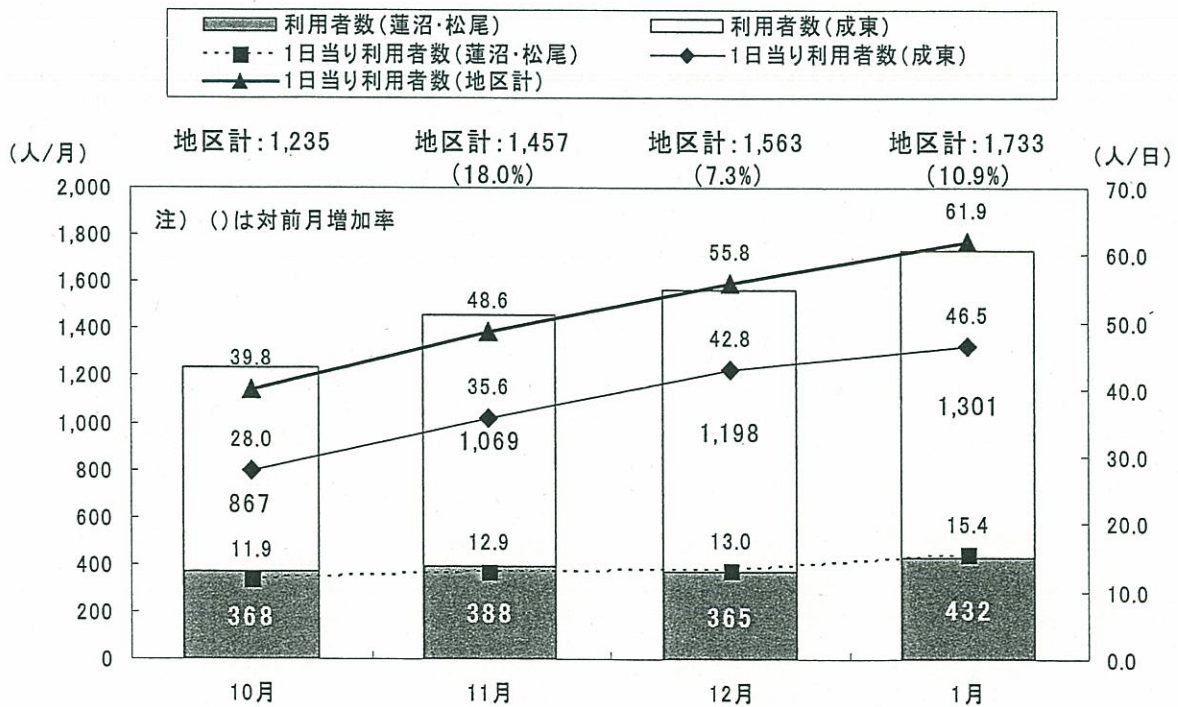


図 乗合タクシーの月別利用者数の推移

(3) 乗継利用者数

乗継利用者数は、基幹バスから乗合タクシーが168人、乗合タクシーから基幹バスが98人と、基幹バスからの乗継が多くなっていますが、全体では、基幹バス利用者の6.4%に留まっています。

月別で見ると、11月に比べ12月では、基幹バスからの乗合タクシーへの乗継が減少し、乗合タクシーから基幹バスへの乗継は大幅に減少しています。

表 乗継利用者数

	基幹バスから 乗合タクシー (人)	乗合タクシー から基幹バス (人)	合計 (人)
10月	45	44	89
11月	70	39	109
12月	53	15	68
合計	168	98	266

1. 当面の対応方針(平成 23 年4月を目処に対応予定)

基幹バスについては、矢部停留所を新設(平成 23 年 1 月 11 日)し、バス停周辺住民の利用環境の向上を図りました。

また、乗合タクシーについても、蓮沼・松尾地域と成東地域間の利用状況より、地域別の運行台数をこれまでの3台ずつから、蓮沼・松尾地区2台、成東地区4台に見直し(平成 23 年 12 月 1 日)、予約や希望乗降時間への対応性を高めました。

今後も、市民、利用者からの要望や検証調査結果等を基に、平成 23 年 4 月を目処に、さらなる利便性と採算性の向上を図るため、以下の対応を実施していく予定です。

(1) 基幹バスの対応方針

① 停留所の増設

利用者・市民アンケートなどの要望や停留所間の距離が長い区間、人口集積地区との関係を踏まえ、運行ルート、ダイヤを変更しない範囲の中で可能な限りバス停留所を設置し(自由乗降区間の設定を含め)、基幹バスの利便性を高めます。

② お試し乗車期間の設定

上記の運行改善に併せて、1週間～2週間程度の無料等乗車期間を設定し、基幹バスの周知を高めることを検討します。(運行許可申請等の手続きが必要なため、実施可能時期は、平成 23 年 6 月以降となります。)

(2) 乗合タクシーの対応方針

① 土日祝日の運行台数見直し

土日祝日は、平日と比べ乗合タクシーの利用者数が少なく、運行車両に余裕があることから、各地区とも平日に対して運行台数を1台ずつ減らし、(蓮沼・松尾地区1台、成東地区3台)、運行経費を低減し、採算性の向上を図ることを検討します。

なお、平日における運行台数については、現行のまま全体で6台とします。

② 地域の運行台数の見直し

各地区における乗合タクシーの運行台数は、1ヶ月単位で変更することが可能であることから、今後の利用状況に応じて臨機応変に地域ごとの運行台数の見直しを行います。

2. 今後、検討する対応方針(平成 23 年 10 月以降に対応予定)

現在、実施している検証調査により、詳細な利用状況や市民・利用者アンケート調査での要望等を把握した上で、今後、以下に示す運行改善の詳細を検討し、平成 23 年 10 月以降に対応します。

(1) 基幹バスの対応方針

① 運行ルート of 検討

停留所増設による利用者数の変化や市民・利用者アンケート調査での意向・要望を踏まえ、運行ルートの変更、延伸などの改善策を検討します。

② 運行便数の検討

基幹バスの便別乗車人員の状況をみると、利用者数の少ない便がみられるため、それらの便について、市民・利用者アンケート調査での意向・要望等を踏まえ、利用者増が望める運行ダイヤの変更や減便などについて検討します。

③ 障害者運賃の検討

現在、障害者運賃については無料となっていますが、今後、福祉交通との関係や関係機関との協議を行いながら、運賃について検討します。

④ 回数券、定期券導入の検討

運賃体系の確定時期に合わせて、運賃負担感を軽減し、利用を促進する回数券、定期券の導入について検討します。

⑤ 基幹バスの愛称の募集の検討

基幹バスに対するマイバス意識や親密感を醸成するため、公募等などにより愛称を検討します。

⑥ サポーター制度の導入の導入検討

基幹バスに対するマイバス意識の醸成を促進するため、バス停の清掃等などをお願いするサポーター制度の導入を検討します。

(2) 乗合タクシー

① 山武地域への導入

山武地域への乗合タクシーの導入については、原則として平成23年10月からの導入に向けた準備を進めますが、今後、第Ⅰ期実証実験運行結果及び市民・利用者アンケート調査の分析結果を踏まえて判断します。

② 予約受付時間の検討

現在、予約受付時間は、平日午前8時から午後6時、土日祝日午前9時から午後6時となっていますが、今後の利用状況や市民・利用者アンケート調査の分析結果、さらには予約受付業務の作業状況を踏まえ、効率的な予約受付時間について検討を進めます。

③ 運行日・運行時間帯の検討

現在、運行日は土日祝日を含め毎日、運行時間は平日午前8時から午後6時、土日祝日午前9時から午後6時となっていますが、今後の利用状況や市民・利用者アンケート調査の分析結果等を踏まえ、効率的な運行日・運行時間帯について検討を進めます。

④ 障害者運賃等を含む料金体系の検討

現在、障害者運賃については無料となっていますが、今後、福祉交通との関係や関係機関との協議を行いながら、運賃について検討します。

⑤ 回数券導入の検討

運賃体系の確定時期に合わせて、運賃負担感を軽減し、利用を促進する回数券の導入について検討します。

⑥ 乗合タクシーの愛称の募集の検討

乗合タクシーに対するマイタクシー意識や親密感を醸成するため、公募等などにより愛称を検討します。

⑦ オペレーターの常時待機人数の検討

平日の午前中は原則として3名のオペレーターが常駐する現在の体制を維持し、今後、山武地域への乗合タクシー導入等の状況を踏まえてオペレーターの常駐人数の検討を行います。

<< 参考：山武地域への乗合タクシー導入に関する市民・利用者の意向 >>

平成 23 年 1 月中旬に実施した、市民及び基幹バス・乗合タクシー利用者に対するアンケート調査から得られた山武地域への乗合タクシーの導入に対する意向は以下のとおりです。

- ① 市民アンケートでは「どちらでも良い」が 47.1%と半数近くを占めており、「他の地域と同じように巡回バスではなく乗合タクシーを導入した方が利用しやすい（以下、乗合タクシーの導入）」が 23.6%、「山武市巡回バスをそのまま運行し、乗合タクシーを導入しない方が良い（以下、巡回バスの継続運行）」が 19.0%と、「乗合タクシーの導入」に対する意向が 4.6 ポイント多くなっています。しかし、対象となる山武地域では「どちらでも良い」が 41.5%と最も多くなっていますが、「乗合タクシーの導入」が 23.9%、「巡回バスの継続運行」が 27.0%と、「巡回バスの継続運行」が 3.1 ポイント多くなっています。
- ② 基幹バス利用者アンケートでは「どちらでも良い」が 37.9%と最も多く、「乗合タクシーの導入」は 16.7%、「巡回バスの継続運行」は 34.8%と基幹バスと同様の形態である「巡回バスの継続運行」が「乗合タクシーの導入」の 2 倍以上の割合となっています。
- ③ 乗合タクシー利用者アンケートでは、「乗合タクシーの導入」が 78.4%と大半を占めており、「巡回バスの継続運行」は 2.7%と極めて少なくなっています。

アンケート調査の種類による意向の相違については、市民、基幹バス利用者については、新たに導入された乗合タクシーに対する十分な認識がないため、「どちらでも良い」の回答が多くなっているものと考えられます。また、乗合タクシー利用者は、アンケート回答者自身の乗合タクシー利用経験により、乗合タクシーのドア・トゥ・ドアの利便性などが評価されている結果であると考えられます。

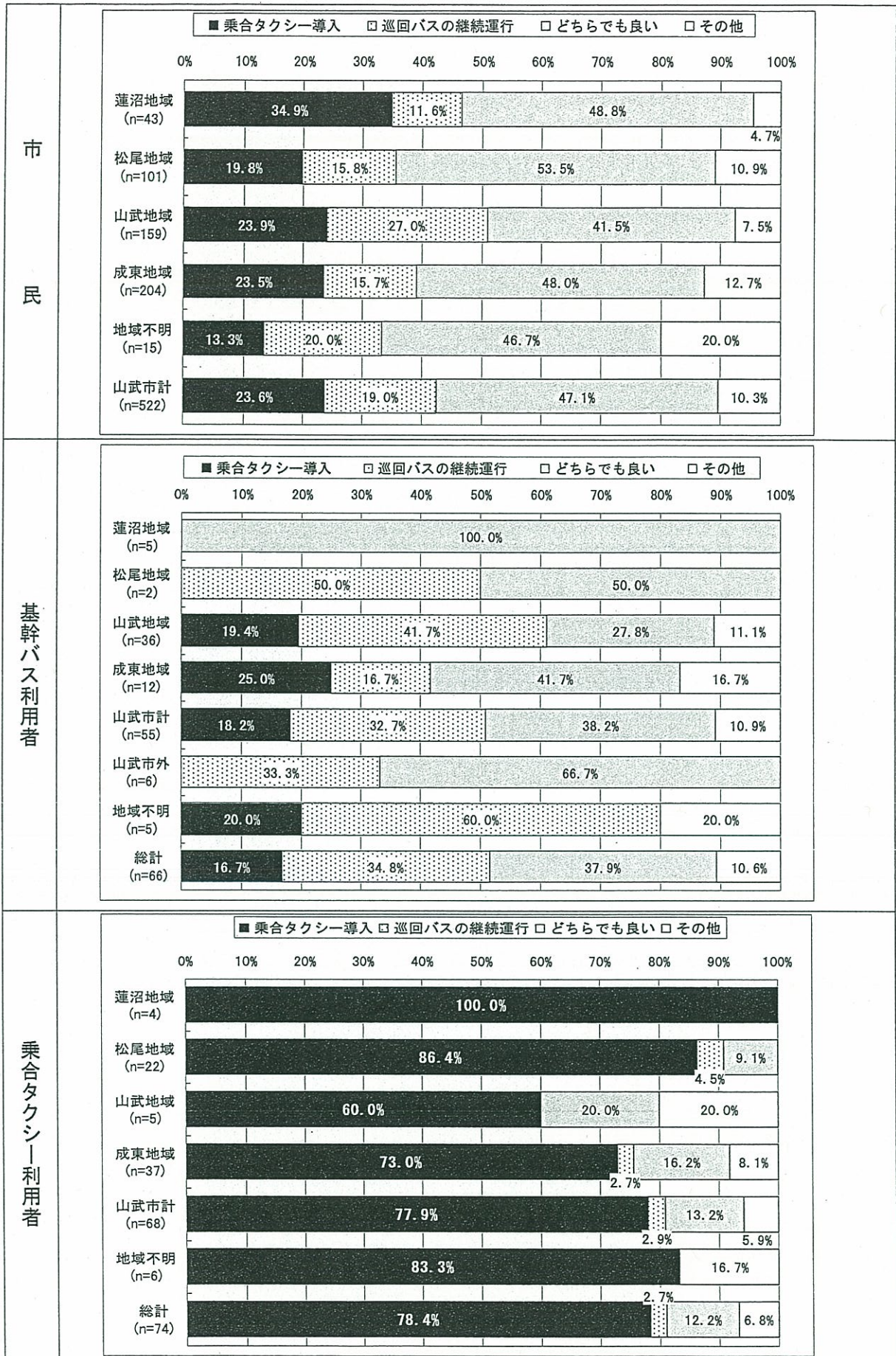


図 山武地域への乗合タクシー導入に関する意向

資料) 市民・利用者アンケート調査 (2/2 到着分まで)

